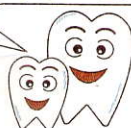




知らなきゃ損する 歯のはなし

木村歯科医院

木村 匡司



②どちらが得でしょうか？

前回、同じ歯を何度も治療し続けながら結局失ってしまふ不思議なお話をしましたが、それを防ぐにはどうしたら良いのでしょうか。なーんだと思っかもしれませんが、それは『予防』することです。歯を削った瞬間から歯を抜く運命が始まると考えれば、虫歯にならないように予防する事しか道はないのです。

予防の方法といえば、日々の手入れの他、歯科医院での定期検診やクリーニングがあります。これからの歯科医院は『痛くなったら通う』のではなく『痛くならないように通う』事になります。

一般的に1本の歯を治療すれば、1回1500円から2

000円程度かかります。

仮に虫歯にならないように予防のためにお金がかかっても、いったん歯を削り始めてしまつたら平均7年ごとに治療費がかさみ、最終的には歯を抜く時期が早まつてしまいます。さらに歯の汚れをメンテナンスしない場合は歯周病も絡んできて、ますます歯を失う危険が増えていきます。

車でさえ数年ごとの車検でお金がかかるように、長い時間乗るためには検査やメンテナンスが必要です。体の一部である歯も当然メンテナンスが必要と考えておきます。

WHOの統計によると国を挙げて予防に取り組んできたスウェーデンは80歳での残存

歯が20本以上、アメリカは18本以上あるそうです。ところが予防を行つてこなかった日本は80歳の時点で、平均6本と格段に少ない結果が出ています。早期発見・早期治療の考えのもと、全て削つて詰める治療をしてきた結果です。

自然界の動物は争いで歯を失つたら死が待っています。

私たち人間が歯を失つたら美味しく味わえない上によく噛めない為、唾の量も減り脳血流量も減りボケが早まる言われています。歯を失う事により命まで短くしてはいないでしょうか？ぜひ皆さんの健康づくりの1つに歯のメンテナンスや予防の考えを見直してみたいかがでしょうか？